

ユリ(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	葉 枯 病	茎 腐 病	茎 敗 病	鱗 茎 び 病	う ど ん こ 病	灰 色 か び 病	斑 点 病	乾 腐 病	軟 腐 病	ア ブ ラ ム シ	ク ロ バ ネ キ ノ コ バ エ	ネ ダ ニ 類	
エコショット	BM2		*d	-	◎												
I Cボルドー66D	M1		-	-	◎												
トップジンM水㊟	1		-	5	◎	◎											
アフエットFL	7		*e	3	◎				◎	◎							
パレード20FL	7		*e	3	◎												
フルピカFL	9		*e	5	◎					◎							
フロンサイド水	29		*e *a	3 1	◎			浸									
フロンサイド粉	29		*f	1	◎												
フロンサイドSC	29		*g	2	◎												
オンリーワンFL	3		*b	1								浸					
ポリオキシNAL溶	19		*e	8	◎												
オーソサイド水80	M4		*b	1			浸										
ダコニール1000	M5		-	6	◎						◎						
ホームイ水㊟	1・M3		*b	1			球										
カスミンボルドー	24・M1		*e	6									◎				
銅パーシン水	24・M1		*e	6									◎				
ジメトエート粒剤	1B	劇	*i	3													◎
ダイアジノン粒剤5	1B		*j	1													◎
			*k	1													◎
トレボン乳	3A		-	6													◎
ウララ50DF	29		*h	6													◎
グレーシア乳	30		*a	1													浸

㊟：チオファネートメチル含有剤 ◎：ベノミル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ物の◎は使用しないこと。その逆も同様（種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP.856 参照）。

\*a: 植付前  
\*b: 植付前又は貯蔵前  
\*d: 発病前～発病初期  
\*e: 発病初期  
\*f: 定植前  
\*g: 定植後  
\*h: 発生初期  
\*i: 定植時

\*j: 株元土壌混和  
\*k: 作糸土壌混和

浸：球根浸漬  
球：球根腐敗病で球根浸漬又は球根粉衣

ユ

リ

ユリ(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
葉枯病	植付前	・雨よけ栽培を行う。	梅雨期に発生しやすい。
	生育期	・梅雨期に次の薬剤のいずれかを散布する。 ダコニール1000 1000倍 フルピカフロアブル 2000～3000倍 フロンサイド水和剤 2000倍 ポリオキシシンAL水溶剤 2500倍	
茎腐症 (リゾープス菌による)	植付前	・次の薬剤を土壌混和する。 フロンサイド粉剤 40kg/10a	密植、過湿をさけ、特に茎葉が軟弱にならないように注意する。
茎腐病	生育期	・発生の初期に次の薬剤を散布する。 トップジンM水和剤① 1500～2000倍	
白絹病	植付前	・次のいずれかで土壌消毒する。 ガスタード微粒剤* バスマイド微粒剤* いずれも20～30kg/10a	*花き類・観葉植物での登録
	生育期	・発生を見たら次の薬剤を株元に散布する。 モンカットフロアブル40* 1000～2000倍	
鱗茎さび症	植付前	・次の薬剤で球根を瞬間浸漬する。 フロンサイド水和剤 100～200倍	
モザイク病	植付前	1. 増殖用の球根は健全株からとる。 2. 増殖は寒冷紗被覆による栽培を行う。	ユリ微斑ウイルス(LMoV)、キュウリモザイクウイルス(CMV)などによって起こる。
	生育期	1. アブラムシ類を防除する。 2. 発病株は抜きとって処分する。	
アブラムシ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤーフロアブル* 2000倍 オルトラン水和剤* 1000～1500倍	ワタアブラムシ、ニワトコフクレアブラムシが寄生する。 *花き類・観葉植物での登録
その他の病害虫		疫病、炭疽病、ネダニ類	